

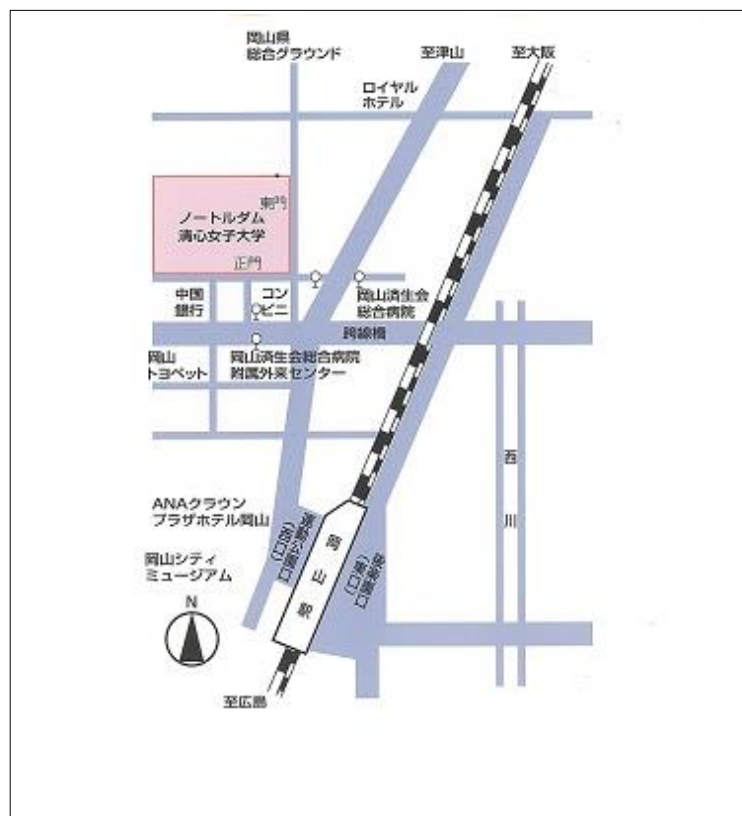
## (15)ノートルダム清心女子大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	1期	2023年4月12日	～	2023年8月8日
	2期	2023年9月21日	～	2024年1月30日
試験期間	1期	2023年7月24日	～	2023年8月8日
	2期	2024年1月16日	～	2024年1月30日
授業時間	1時限	9:00	～	10:30
	2時限	10:45	～	12:15
	3時限	13:00	～	14:30
	4時限	14:45	～	16:15
	5時限	16:30	～	18:00

### ② アクセス(案内図)

- JR岡山駅(西口)から北へ徒歩約10分
- 岡電バス又は中鉄バスのいずれかで「済生会病院前」下車
- 〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9



### ③ 担当窓口

学務部教務係	
所在地:	〒700-8516 岡山市北区伊福町 2-16-9
電話:	086-255-5583

### ④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

#### ・ 履修申込期限

申込期限は、前期:4月6日(木)まで 後期:9月14日(木)までです。なお、お申込みについては、必ず所属大学等のご担当者を通してください。

#### ・ 履修手続

##### 履修者の皆さんへ

以下の印刷物等については所属大学を通じて配付いたします。

- ① 学生便覧
- ② 学内サービス利用申請書
- ③ ノートルダム清心女子大学学内ネットワーク及び manabafolio 利用申請書・誓約書
- ④ 学内案内図
- ⑤ 図書館の利用について

図書館を利用するためにはライブラリーカードが必要ですので、附属図書館で申請してください。手続きの際は、教務係がご案内いたします。

#### ・ 施設利用

ノートルダム清心女子大学在学の学生と同じ扱いとします。

#### ・ 特記事項

--

### ⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://www.ndsu.ac.jp/department/syllabus.html>

・対面授業科目

対面授業				15001
授業科目名:キリスト教学 I			担当教員氏名:山根 道公	
Christian Studies I				
履修年次 1~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>          死にたいと想うほどの人生の挫折の中で聖書に出会い、生きる希望の光を見出し、それを作品に表わした人たちがいる。本授業ではそうした作品を導入とし、新約聖書と遠藤周作『イエスの生涯』をテキストにして、新約聖書の福音書を中心にイエスの生涯と教えについて学び、闇の中にいる人間に希望の光を与えるイエスの福音(喜びの知らせ)とはどのような精神、価値観をもつものかを考察することで、そうしたキリスト教的精神、価値観が、現代社会にあってどのような意味をもつか、理解し、さらに自分自身の問題とどのような関わりをもつか、主体的に考える力を身につけることを目的とする。また、そうした理解に必要なキリスト教の基礎知識を修得する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>          1. 導入:現代人と聖書、イエスの福音に出会った人たち(遠藤周作、井上洋治、三浦綾子、星野富弘、水野源三等)          2. 『新約聖書』の構成・風土的背景          3. イエスの生誕、クリスマスの意味          4. 洗礼者ヨハネとイエス、メシアニズム          5. 神の国の福音宣教、公生活の開始          6. 奇蹟物語と慰め物語          7. イエスの祈り          8. ユダヤ教指導者層との対決、安息日論争          9. 北ガリラヤへの逃避行、受難と死の予告          10. 死を覚悟したエルサレムへの旅          11. エルサレム入城と最後の晩餐          12. イエスの受難と十字架の死          13. イエスの復活顕現物語          14. 現代人とイエスの福音          15. まとめ・(期末レポートについて)</p>				
<p><b>【テキスト】</b> &lt;必携書&gt; 遠藤周作『イエスの生涯』(新潮文庫)、『聖書』</p>				
<p><b>【参考図書】</b> なし</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          ・リアクションペーパー…30%          ・期末レポート…70%</p>				

対面授業				15002
授業科目名:キリスト教学Ⅱ			担当教員氏名:岡田 紅理子	
Christian Studies Ⅱ				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  キリスト教の成立と発展の中核にあるのは、イエスという人物を「神の子キリスト」とする信仰である。しかし本科目のねらいは、イエスという人物がなぜ「神の子」で「キリスト(救い主)」なのか、というよりも、歴史上に実在したイエスがどのような人物であったのかを探究することにある。  具体的には、イエスが生きた当時の社会、文化、政治的背景を踏まえつつ、時に皮肉やユーモアを交えたことばと行動によって宗教的政治権力や経済的抑圧に抗い、「罪人」とカテゴライズされた人々と苦しみ・痛みを共有し続けた、喜怒哀楽の感情をもったイエスの人間像に迫り、キリスト教の原点を捉えていく。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション</li> <li>2. 聖書とは</li> <li>3. イエスが生きた時代</li> <li>4. イエスの幼年期</li> <li>5. 洗礼者ヨハネとの出会い</li> <li>6. イエスの自立</li> <li>7. イエスがかがみ込んだ先の人たち</li> <li>8. イエスが起こした奇跡</li> <li>9. イエスが説いた神</li> <li>10. 律法学者たちとイエス</li> <li>11. イエスが説いた愛と交わり</li> <li>12. 危機を迎えたイエス</li> <li>13. イエスの受難と死、復活</li> <li>14. わたしにとってのイエス:ある司祭の語り</li> <li>15. わたしにとってのイエス:ある修道女の語り</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>  『聖書(新共同訳)』もしくは『聖書(聖書協会共同訳)』(いずれも日本聖書協会)</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  佐藤望ほか『アカデミックスキルズ 大学生のための知的技法入門(第3版)』慶應義塾大学出版会、2020年  ジョン・ディア『山上の説教を生きる:八福の教えと平和創造』志村真(訳)、新教出版社、2021年  本田哲郎『釜ヶ崎と福音:神は貧しく小さくされた者と共に』岩波書店、2015年</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組み態度 20%</li> <li>・リアクションペーパー 40%</li> <li>・レポート 40%</li> </ul>				

対面授業			15003
授業科目名:キリスト教学XVI		担当教員氏名:山根 道公	
Christian Studies XVI			
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ
<p><b>【授業の目的】</b>  「愛は決して滅びない」「神は耐えられないような試練にあわせることはない」といった言葉は、新約聖書の中のパウロ書簡の言葉である。そうしたパウロ書簡と共に新約聖書の中の使徒言行録およびそれと関連する遠藤周作『キリストの誕生』をテキストにして読み、イエスの死後、イエスを見捨てて逃げた弟子たちが、イエスをキリスト(救い主)と呼び、迫害にも怯まない信念をもって宣教する使徒となり、原始キリスト教が成立し、さらにキリスト教徒を迫害していたパウロが回心して異邦人伝道の使徒となることで、キリスト教がヘレニズム世界に広がるという歴史的展開を学ぶ。そして、弱かった弟子たちが何故に強い信念の使徒に変貌できたのかを考察する。また、パウロ書簡の言葉から、生きることの意義を追求するための思想を理解し、さらに自分自身の問題とどのような関りをもつか、主体的に考える力を身につけることを目的とする。また、そうした理解に必要なキリスト教の基礎知識を修得する。</p>			
<p><b>【授業内容】</b>  1 導入:現代人とパウロ書簡の言葉  2 新約聖書の使徒言行録と書簡の概説  3 原始キリスト教の出發  4 ユダヤ教徒からの迫害、ステファノ殉教  5 迫害者パウロの回心  6 原始キリスト教のエルサレムとアンティオキア  7 パウロ第一次伝道旅行  8 パウロ第二次伝道旅行  9 パウロ第三次伝道旅行とローマへの旅  10 ペトロの殉教、パウロの殉教  11 ユダヤ戦争と原始キリスト教  12 原始キリスト教の發展  13 原始キリスト教と福音宣教  14 パウロ書簡より、愛の讃歌、苦しみの連帯  15 まとめ</p>			
<p><b>【テキスト】</b>聖書、遠藤周作『キリストの誕生』(新潮文庫)</p>			
<p><b>【参考図書】</b></p>			
<p><b>【成績評価の方法】</b>リアクションペーパー30%、期末レポート70%</p>			

対面授業				15004
授業科目名: 英語学・言語学研究ⅢA			担当教員氏名: 齋藤 衛	
Research in English Linguistics IIIA				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  日英語比較統語論。統語論の知識を補いながら、日英語の文法現象を比較し、検討する。特に、日本語特有の現象に関する研究から、統語理論、そして英語の統語分析に対してどのような帰結が得られるかを考えていく。句構造、文法格、移動、省略など、さまざまなトピックをとり上げる。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  1. 序: 日英語比較統語論のめざすところ  2. 自由語順と句構造  3. 文の基本構造と意味役割  4. 受動文と繰り上げ文  5. 日本語の複合動詞文 (I): 受動文、可能文  6. 英語における小節  7. 日本語の複合動詞文 (II): 使役文  8. コントロールと上昇  9. 代名詞と再帰代名詞  10. 日英語の省略現象: N'省略、VP 省略、スルーシング  11. 日英語の省略現象: 項省略  12. Wh 句と数量詞  13. 日英語の補文標識 (I): カートグラフィー理論  14. 日英語の補文標識 (II): 補文の意味解釈  15. 筆記試験、解答例解説  16. 試験のフィードバック</p>				
<p><b>【テキスト】</b> 岸本秀樹著『ベーシック生成文法』ひつじ書房, 2009. ISBN978-4-89476-426-2.  他にもプリントを配布する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b> Tsujimura, Natsuko, An Introduction to Japanese Linguistics (Second Edition), Blackwell Publishers, 2007.</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  宿題…30%、筆記試験…70%</p>				

対面授業				15005
授業科目名: 英語学・言語学研究ⅢB			担当教員氏名: 齋藤 衛	
Research in English Linguistics IIIB				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b> 音韻論の基礎を学びながら、主に日英語の現象を分析していく。音と音素、音韻規則、弁別的素性、強勢と音調、音節とモーラなど、音韻論の基礎的な概念や理論の構成について学習し、身近な音韻現象の分析ができるようにする。また、日英語の言葉遊びや方言の分析についても、例を示す。この授業は、基本的には英語を使用言語とするが、毎回、日本語によるまとめも行う。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日英語の音</li> <li>2. 調音位置と調音方法</li> <li>3. 音韻規則 (I): 同化現象</li> <li>4. 音韻規則 (II): 削除現象</li> <li>5. 日本語の動詞活用</li> <li>6. 無声化と連濁</li> <li>7. 強勢と音調、英語の強勢</li> <li>8. 日本語諸方言の音調</li> <li>9. 音節とモーラ</li> <li>10. 複合語の音調</li> <li>11. 日英語のことば遊び</li> <li>12. 英語の方言</li> <li>13. 日本語の方言</li> <li>14. 総復習</li> <li>15. 筆記試験、解答例解説</li> <li>16. 試験のフィードバック</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>毎回、授業時にハンドアウトを配布する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>Schane, Sanford A., Generative Phonology, Prentice-Hall, 1973. Tsuji-mura, Natsuko, An Introduction to Japanese Linguistics (Second Edition), Blackwell Publishers, 1997.</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b> 宿題…40%、筆記試験…60%</p>				

対面授業				15006
授業科目名: 英米文学講読Ⅱ			担当教員氏名: 新野 緑	
Readings in British and American Literature II				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  18 世紀のイギリスでは conversation piece と呼ばれる絵画が流行した。家族や友人が集まり、打ち解けた雰囲気の中で会話や趣味を楽しんでいる様子を、そこに描かれている人物が誰であるかがわかるように描いた絵画である。この conversation piece の解説書を担当者の発表を中心にしながら、全員で精読する。現代の家族写真やビデオに似たこれらの絵画に描き込まれた人や物の細部の意味を「読む」方法を学ぶことを通して、イギリスの社会や文化、生活習慣などについて深く理解するとともに、言葉で書かれた文学作品における人物や情景の絵画的描写を読み解く方法を身につける。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション: conversation piece 誕生の背景</li> <li>2. Introduction 1: conversation Piece とは何か</li> <li>3. Introduction2: オランダ絵画の影響</li> <li>4. The Schutz Family and Their Friends 1: スチュワート朝からハノーヴァー朝へ</li> <li>5. The Schutz Family and Their Friends 2: 絵画の中の象徴</li> <li>6. The Strode Family 1: お茶の習慣</li> <li>7. The Strode Family 2: 人物の配置</li> <li>8. Queen Charlotte with Her Two Eldest Sons 1: 王妃の化粧台</li> <li>9. Queen Charlotte with Her Two Eldest Sons 2: 王妃の二つの顔</li> <li>10. David Garrick and Mrs. Cibber in Venice Preserv'd: 18 世紀の演劇</li> <li>11. The Brockman Family and Friends at Beachborough Manor: イギリスの庭園</li> <li>12. Mrs. Congreve and Her Children: 趣味の洗練と主婦の位置づけ</li> <li>13. Mr. Ricketts' Return from Shooting: 工業化の時代</li> <li>14. The Young Trio: 子供の表象</li> <li>15. Conclusion 及び試験</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>  Clair Hughes, The English Family Portrait. 英宝社、1997. ISBN 4-269-12026-6</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  その他必要な参考書は教室で適宜紹介する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業への積極的参加(レスポンスペーパー、授業での発言等) 30%  プレゼンテーション 10%  学期末試験 60%</p>				



対面授業				15007
授業科目名:英米文学研究 IVB			担当教員氏名:新野 緑	
Research in British and American Literature IVB				
履修年次 3~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  &lt;文学翻訳演習&gt;  文学作品は、書かれた内容もさることながら、その表現方法としての文体やイメージ、語りのトーンなどに様々な技巧上の工夫が凝らされている。また、作品が過去の異国のものであれば、その作品の舞台となる国や地域の歴史的文化的状況を知ること、初めてその意味やニュアンスが理解できる場合もあるだろう。この授業では、様々な英語文学作品の翻訳に実際にチャレンジすることで、英語読解力を深めるとともに、文学翻訳に必要な要点を学びたい。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction: 授業の進め方の説明及び文学翻訳の姿勢と注意点の説明</li> <li>2. Jane Austen, Emma</li> <li>3. 語順について: William Wilkie Collins, "The Family Secret"</li> <li>4. 息の長い文章、短い文章(1): Ernest Hemingway, The Old Man and the Sea</li> <li>5. 息の長い文章、短い文章(2): George Eliot, The Mill on the Floss</li> <li>6. 男性の語り、女性の語り(1): Charles Dickens, David Copperfield</li> <li>7. 男性の語り、女性の語り(2): Anne Bronte, Agnes Grey</li> <li>8. 代名詞をどう訳すか: Paul Auster, City of Glass</li> <li>9. 会話文の訳し方: Charlotte Bronte, Jane Eyre</li> <li>10. 英語の時制、日本語の時制(1): George Gissing, The Private Papers of Henry Ryecroft</li> <li>11. 英語の時制、日本語の時制(2): Kazuo Ishiguro, The Remains of the Day</li> <li>12. 自由間接話法(1): Jane Austen, Pride and Prejudice</li> <li>13. 自由間接話法(2): Virginia Woolf, Mrs Dalloway</li> <li>14. イメージをどう生かすか: Thomas Hardy, The Return of the Native</li> <li>15. まとめ・試験</li> </ol> <p>(なお、取り上げる作品は変更する可能性がある)</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  プリントを配布する</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  真野泰『英語のしくみと訳し方』(研究社 2010)、その他必要な参考書は教室で適宜紹介する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業への積極的参加(レスポンスペーパー、授業での発言等) 20%  毎回の提出課題 40%  学期末試験 40%</p>				

対面授業				15008
授業科目名:近代文学特講 I				担当教員氏名:山根 知子
Special Lecture on Modern Japanese Literature I				<p>取り扱う作品が指示されたら、必ず読んで授業に臨むこと。</p> <p>講義形式ではあるが、受講者が自身の考えを述べる機会を随時設けるので、常に自己の考えをノートしておくこと。</p>
履修年次 1~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b></p> <p>岡山市出身の小説家・児童文学作家である坪田譲治の作品を読み深めることができ、作品の特質の理解とともに作家の特質を考えることができるようになる。</p> <p>さらに、講義内容によって得た知識から、履修者は発展的に、作家の作品とその思想が同時代の問題および岡山を舞台とした風土の問題とどのように関係するかについて、テキスト分析と同時代資料の調査を実行する力と、それをもとにみずから考察して読解を深める力を身につけ、その成果としてのレポートを仕上げる。</p> <p>授業中の課題では、コメントシートへの記入のほか、口頭発表も取り入れることで、自分の思考内容を人に伝える力としての表現力を養う。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 イン트로ダクション</li> <li>2 坪田譲治年譜による作家理解</li> <li>3 作品と同時代および風土について</li> <li>4 坪田譲治の作品理解</li> <li>5 学生による「感想」「イラスト」についての発表 (岡山市主催「学生による坪田譲治ワールドへの招待」への応募内容について各自発表)</li> <li>6 映像授業「第一部 坪田譲治の生涯」</li> <li>7 童話集『かっぱとドンコツ』および 6 の解説</li> <li>8 映像授業「第二部 作品から学ぶ坪田譲治」</li> <li>9 小説「風の中の子供」および 8 の解説</li> <li>10 映像授業「第三部 坪田譲治の時代から学ぶ岡山」</li> <li>11 10 の解説および期末レポート課題の説明</li> <li>12 同時代資料を使った小説の読解</li> <li>13 同時代資料を使った童話の読解</li> <li>14 期末レポート仮提出とそのフィードバック</li> <li>15 作品分析と作家理解について</li> </ol> <p>期末レポート本提出</p>				
<p><b>【テキスト】</b> 担当教員より印刷物等を配付</p>				
<p><b>【参考図書】</b> なし</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <p>授業中の課題と発表：30%、レポート(仮提出・本提出)：70%</p>				

対面授業			15009	
授業科目名: 古代文学特講 I			担当教員氏名: 東城 敏毅	
Special Lecture on Early Mediaeval Japanese Literature I				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b> 『万葉集』は、奈良時代に成立した日本最古の和歌集である。本授業は、『万葉集』を取り上げ、七・八世紀の時代背景も詳細に概観しながら、日本の和歌がいかにか形成されていったのかを考察する。また、万葉歌の表現方法・表記方法の多様性と特色を、古代和歌史の視点や考古学・歴史学の視点も取り入れながら考察する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b> 1 授業ガイダンス「訓む」と「読む」と・額田王の世界①: 代作歌人としての位置付け 2 額田王の世界②: 難訓歌に挑む 3 「穂積皇子・但馬皇女歌群」①: 配列から考える「歌物語」 4 「穂積皇子・但馬皇女歌群」②: 但馬皇女の「朝川渡る」 5 歌木簡と万葉集①: 木簡から見える古代の生活 6 歌木簡と万葉集②: 「難波津の歌」の謎 7 大和三山の歌①: 三首の疑問 8 大和三山の歌②: 歴史的背景と難訓歌 9 天平時代のサラリーマン事情: 生活の場と出世への遠い道のり 10 柿本人麻呂の世界①: 安騎野の歌の歴史的背景 11 柿本人麻呂の世界②: 安騎野の歌「東の野に炎の」の訓み 12 「梅花の宴」①: 「令和」の出典歌を讀解する 13 「梅花の宴」②: 大伴旅人と山上憶良の憶い 14 高橋虫麻呂「菟原処女伝説歌」①: 上代における「伝説歌」の意義 15 高橋虫麻呂「菟原処女伝説歌」②: 考古学・歴史学の視点から・総括</p>				
<p><b>【テキスト】</b> ＜必携書＞ 佐竹昭広・木下正俊・小島憲之『補訂版 萬葉集 本文篇』(塙書房 1998 年) ISBN: 978-4827300819</p>				
<p><b>【参考図書】</b> ＜参考書等＞ 上野誠・鉄野昌弘・村田右富実編『万葉集の基礎知識』(KADOKAWA 2021 年) その他、授業中に適宜紹介する。 なお、教材としてレジュメを随時配布する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b> レスポンスカード 60% 学期末レポート 40%</p>				

対面授業				15010
授業科目名: 古代文学特講Ⅱ			担当教員氏名: 東城 敏毅	
Special Lecture on Early Mediaeval Japanese Literature Ⅱ				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  本授業は、『古事記』神話の基礎的な知識を習得し、日本神話の特色を理解することを目的とする。特に上巻の神話部分を中心に読解し、世界の神話とも比較しながら、古代人のものの考え方や価値観について考えるとともに、日本文学史上における神話の位置付けについても考察する。また多くの注釈書や研究史を概観し、作品を多角的に捉える視点を養う。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  1 授業ガイダンス  2 創成神話:「天地初発之時」  3 造化三神:タカミムスヒとカミムスヒ  4 イザナキ・イザナミ神話①:二神の結婚・国生み  5 イザナキ・イザナミ神話②:黄泉国(1)  6 イザナキ・イザナミ神話②:黄泉国(2)  7 三貴子の誕生:アマテラス・ツクヨミ・スサノヲ  8 アマテラス神話①:誓約  9 アマテラス神話②:天の岩屋  10 スサノヲ神話①:スサノヲの追放とオホゲツヒメ  11 スサノヲ神話②:ヤマタノヲロチ(1)  12 スサノヲ神話②:ヤマタノヲロチ(2)  13 出雲神話①:「稲羽の素戔」とオホクニヌシ  14 出雲神話②:根の堅洲国  15 授業の総括</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  &lt;必携書&gt;  中村啓信訳注『新版 古事記』(角川ソフィア文庫 2009年)ISBN:978-4044001049</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  &lt;参考書等&gt;  この史代『ぼおるぺん 古事記』天の巻・地の巻・海の巻(平凡社、2013-2014年)  その他、授業中に適宜紹介する。  なお、教材としてレジュメを随時配布する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  レスポンスカード 60%  学期末レポート 40%</p>				

対面授業				15011
授業科目名:ジェンダー論			担当教員氏名:山下 美紀	
Gender Studies				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> 本講義では、日常生活において自明視されている「ジェンダー」や「性」にまつわるさまざまな常識・社会現象や社会問題を取り上げ、検討を加える。ジェンダーに関する基本的な理解を深め、さらに、社会・文化的な性のありようを作り出している構造を解き明かし、現代的課題を提示する。				
<b>【授業内容】</b> 1. 授業の概要説明 2. 「ジェンダー」研究の誕生と発展 3. ジェンダー論の基礎① セックスとジェンダー・グループディスカッション 4. ジェンダー論の基礎②ジェンダーとは何か 5. ジェンダー論の基礎③第1波フェミニズム 6. ジェンダー論の基礎④第2波フェミニズム 7. ジェンダーの社会的構築 8. ジェンダー秩序とジェンダー体制・中間試験 9. ジェンダーの再生産 10. 子ども期のジェンダー 11. メディアとジェンダー 12. 青年期のジェンダー 13. 日常生活のなかのジェンダー 14. 男性学とジェンダー・中間試験 15. 現代社会とジェンダー				
<b>【テキスト】</b> 使用しません				
<b>【参考図書】</b> <参考書等> 参考文献・資料等については講義中に指示する。 適宜資料を配布する。				
<b>【成績評価の方法】</b> 課題レポート:10% 期末レポート:30% 中間試験2回実施:60%				

対面授業				15012
授業科目名:現代社会学特講 I			担当教員氏名:二階堂 裕子	
Special Topics in Modern Sociology I				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  本授業では、国境を越えて移動する労働者について学ぶ。その目的は、グローバル化の影響のもとで生じる社会現象や社会問題を社会学的な視点から読み解く力を培うこと、また、その過程で自己の価値観を相対化し、新たな視点を獲得することにある。まず、国際的な労働力移動に関する研究動向を概観し、こうした現象を捉えるための基礎知識を身につける。次に、日本の国際移動をめぐる歴史的経緯や背景について理解する。続いて、日本社会における外国人の労働現場に目を向け、外国人の就労実態や日本人との関係のありようを検討する。以上を通して、国際労働力移動をめぐる諸現象や諸問題が、そこに関わる人々の意識や行動とどのように関わり合っているのかについて考察する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  1. 国境を越えたグローバルな労働力移動  2. 歓迎される移民と排除される移民  3. 国際労働移動とジェンダー  4. 世界都市における分極化  5. 日本社会と移民  6. 日本人の海外移住  7. 日本における産業構造の変化と労働市場開放  8. デカセギ日系人の流入  9. 日系人の顔の見えない定住化  10. 外国人技能実習制度の現状と課題  11. 技能実習生の就労現場  12. 技能実習生の受け入れ政策  13. 送出国からみた外国人技能実習制度  14. 「食の外部化」と外国人労働者  15. 介護現場の外国人労働者</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  使用しない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  講義中に適宜資料を提示するほか、参考書なども紹介する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  毎回の小課題(授業で学んだことや意見):30%  期末レポート:70%</p>				

対面授業			15013
授業科目名: 社会集団・組織論		担当教員氏名: 濱西 栄司	
Social Groups and Organizations			
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ
<p><b>【授業の目的】</b>  本授業の主な目的は、社会学の基礎理論の一つである「社会集団・組織論」の理解を通して、現代社会を捉えるための基本的な視座や技法を修得することにある。授業の前半では、経済・政治をめぐる代表的な社会組織（「会社」、協同組合、行政組織、国際機関、NPO・NGO など）を、その近現代史と絡めつつ学ぶ。後半では、多様な社会現象を、集団・組織の戦略的活動や組織関係の現れとして分析していく基本的な視座・技法を修得していく。</p> <p>授業では主に Google Classroom を用いて各回の自学習やフィードバック、期末レポートの管理を行う。また自学習を前提として、隣席学生同士（2~3 名）で簡単に意見交換する時間を設けるようにしている。</p>			
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>オリエンテーション: 社会学と社会集団・組織論  &lt;第 I 部 現代の代表的組織&gt;</li> <li>類型とアソシエーション  ——経済: 会社とそれ以外——</li> <li>「会社」の近現代史</li> <li>企業倫理と企業の社会的責任 (CSR)、SDGs</li> <li>同業組合/労働組合の近現代史</li> <li>労働組合の現在とこれから</li> <li>オルタナティブとしての協同組合</li> <li>NPO、社会的企業、ソーシャル・ベンチャー  ——政治: 国家と運動——</li> <li>近代国民国家の形成</li> <li>グローバル・ガヴァナンス</li> <li>業界団体と社会運動</li> <li>&lt;第 II 部 組織の研究&gt;</li> <li>社会学的組織研究: フリーライダーと集合行為論</li> <li>社会学的組織研究: 資源動員論</li> <li>社会学的組織研究: 事例・問題からのアプローチ</li> <li>まとめとこれから</li> </ol>			
<p><b>【テキスト】</b>  毎回、レジュメを配布する</p>			
<p><b>【参考図書】</b></p>			
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業への取り組み: 30%  確認テスト: 30%  期末レポート: 40%</p>			

対面授業			15014	
授業科目名: 宗教社会学			担当教員氏名: 福田 雄	
Sociology of Religion				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  「宗教的な意味」を持つ行為は、寺社や教会などでのいわゆる「宗教」的場面に限られるものではなく、私たちが日常生活の中であまり意識することなく繰り返し行っている習慣や、災害に襲われたときに夢中で行っている行為の中などに、数多く見られます。  本授業では、宗教と社会の関係について、できるだけ身近な振る舞いや具体的な事例を手掛かりにして掘り下げ、現代社会を理解するための技能を修得します。私たちにとって宗教はどのような意味を持つのかというテーマにかんする知識を、全 15 回の授業を通して学びます。  前半では、今日的なトピックに関連させながら宗教社会学の視点を理解してもらいます。後半では、苦難という観点に焦点を当てながら、事例研究や古典的研究を学びます。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション</li> <li>2. 初詣は「宗教」か？</li> <li>3. 「宗教」とは何か？</li> <li>4. 宗教の実体的定義と機能的定義</li> <li>5. 折り鶴を燃やすことはなぜ悪か？ 近代社会の聖なるもの</li> <li>6. 生きることを強いることはいかに可能か？ 諸外国の事例</li> <li>7. 生きることを強いることはいかに可能か？ 日本の事例</li> <li>8. なぜ災いをもたらされたのか？ 永井隆の燔祭説</li> <li>9. なぜ災いをもたらされたのか？ 燔祭説への批判とその社会的文脈</li> <li>10. 長崎市の原爆平和祈念式典の変遷</li> <li>11. 災禍をめぐる宗教者の慰霊・追悼行事</li> <li>12. 東日本大震災をめぐる慰霊祭・追悼式</li> <li>13. 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」における「天職」概念</li> <li>14. 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」における「予定説」</li> <li>15. まとめと振り返り</li> </ol>				
<b>【テキスト】</b>				
<p><b>【参考図書】</b>  福田雄 2020 『われわれが災禍を悼むとき——慰霊祭・追悼式の社会学』慶應義塾大学出版会 (ISBN 978-4-7664-2654-0)</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  定期試験(90%)  リアクションペーパー(10%)</p>				



対面授業				15015
授業科目名: 日本社会史 II			担当教員氏名: 久野 洋	
Social History of Japan II				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  本授業では、近世から近現代にかけての日本社会の具体的なありようと、その変容過程について考察する。高等学校までの日本史の中心的な話題は、政治権力や政策レベルの歴史だったかもしれない。この授業では、とりわけ村や都市といった地域社会と国家・権力との関係を捉えることで、日本社会の歴史的展開をより深く理解することを目指す。その際、史料にもとづきながら、地域に生きた人々が抱えた矛盾・葛藤を具体化し、各時代における社会のゆがみを見定めることに注力する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  1. はじめに  2. 徳川社会で生きる  3. 「徳川システム」のゆらぎ  4. 開国と幕末社会—地域の視点から—  5. 近代化と地方名望家  6. 近代化と地域の民衆  7. 明治社会を生きる  8. 「家」と農村の女性  9. 小括(小テスト)  10. 都市民衆騒擾の時代  11. 第一次世界大戦後の大衆社会化  12. 恐慌の時代  13. 民衆はなぜ戦争に「協力」したのか  14. 総力戦体制下の矛盾  15. むすび</p>				
<p><b>【テキスト】</b> 使用しない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  ・渡辺尚志『百姓のカー江戸時代から見える日本—』(柏書房、2008年/角川ソフィア文庫、2015年)  ・松沢裕作『生きづらい明治社会—不安と競争の時代—』(岩波ジュニア新書、2018年)  ・季武嘉也編『日本の近現代—交差する人々と地域—』(放送大学教育振興会、2015年)  ・大門正克『戦争と戦後を生きる』(小学館、2009年)  その他の文献については授業中に適宜紹介する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  レポート 50%  リアクションペーパー・授業への取り組み度・小テスト 50%</p>				

対面授業				15016
授業科目名: アジア社会史 I			担当教員氏名: 鈴木 真	
Social History of Asia I				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  かつて中国には、千四百年にわたって実施された科挙と呼ばれる制度が存在した。この制度は王朝を支える官僚候補生の代表的な選抜・任用制度であったが、前近代中国社会における人びとの思想や文化・習俗を色濃く反映していた。そのため、なぜこのような制度が必要とされたのか、その制度とはいかなるものであったのか、そして人びとにどのような影響を及ぼしたのかという問題の解明は、中国の歴史・社会そのものを知ることに繋がる。以上のような問題意識のもと、本授業では科挙を題材としてとりあげ、古代～近代における儒教や知識人の世界を中心に講義する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中国社会における王朝と民衆とのかかわり</li> <li>2. 県と郷村</li> <li>3. 中国における官僚登用の歴史(1)——漢</li> <li>4. 中国における官僚登用の歴史(2)——魏晋</li> <li>5. 中国における官僚登用の歴史(3)——隋唐</li> <li>6. 中国における官僚登用の歴史(4)——宋</li> <li>7. 科挙合格と官僚任官による社会的成功</li> <li>8. 士大夫の理念</li> <li>9. 民衆と胥吏と官僚</li> <li>10. 科挙合格までの長い道のり</li> <li>11. 科挙の盛行と宗族の発展</li> <li>12. 宗祠・族譜・義荘</li> <li>13. 科挙と移住</li> <li>14. 科挙の廃止と近代中国</li> <li>15. 科挙は近現代の中国社会に何をもたらしたか</li> </ol>				
<b>【テキスト】</b>				
<p><b>【参考図書】</b>  参考文献は講義中に適宜紹介する。また毎回資料プリントを配付する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  小レポート: 10%  期末試験: 90%  (持込み不可の長文論述試験を、対面でおこなう)</p>				

対面授業				15017
授業科目名:ヨーロッパ社会史Ⅱ			担当教員氏名:轟木 広太郎	
Social History of Europe II				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> ヨーロッパ史における「罪と罰」「犯罪と刑罰」を取り上げる。千数百年の間に正義と悪の問題がヨーロッパ社会のなかでどのように移り変わってきたかを検討する。前半は宗教世界、後半は世俗世界が対象となる。				
<b>【授業内容】</b> 1. 宗教世界の罪と罰 2. 古代末期の贖罪 3. 中世前期の贖罪 4. 中世後期・近世の贖罪 5. あの世の裁き 6. 異端審問 7. 魔女と悪魔 8. 中世前期;神判 9. 中世盛期;罰金刑 10. 近世;身体刑 11. 近世;国王の正義 12. 18世紀の刑法改革 13. 近現代;監獄刑 14. 近現代;一望監視 15. 近現代;犯罪学				
<b>【テキスト】</b> 毎回の授業で資料教材を配布する。				
<b>【参考図書】</b>				
<b>【成績評価の方法】</b> 平常点(15%) レポート(85%)				

対面授業				15018
授業科目名:考古学Ⅱ			担当教員氏名:紺谷 亮一	
Archeology Ⅱ				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  オリент考古学についての基礎的知識の習得を図る。農耕の開始、都市の出現、文字の発明、交易網の整備等、人類史の主な出来事が、オリエンの地でおこったことを学ぶ。オリエンでの発掘調査の方法論の独自性を理解する。その一方で、日本考古学との相違点について理解する。そして、流動的な現代中東世界を理解するうえで、オリエン考古学の果たす役割について学ぶ。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  1 講義概要  2 古代オリエンの地理学的概念  3 新石器(農耕)革命  4 都市革命  5 文字の発明  6 交易の時代・青銅器の出現  7 帝国と鉄器の出現  8 オリエンの発掘史 1  9 オリエンの発掘史 2  10 オリエンの遺跡 1(ヒッタイト帝国の首都ハットウシャ)  11 オリエンの遺跡 2(ホメロスの伝説都市トロイ)  12 オリエンの遺跡 3(アッシリア王の都ニルムド)  13 トルコにおける考古学調査  14 オリエン考古学に携わった人々(アラビアのロレンス、アガサ・クリスティー等)  15 総括</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  &lt;必携書&gt;  『西アジア考古学講義ノート』, 西アジア考古学講義ノート編集委員会, 西アジア考古学会、2013 年</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  レポート(2 回) 50%  ノート提出 50%</p>				

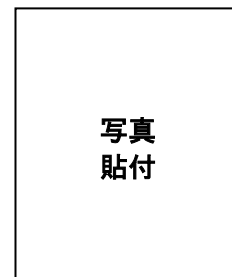
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

ノートルダム清心  
女子大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部		学科		年
学生番号	性別	生年 月日	西暦 年		
			元号( )	年	月 日
現住所	〒 -		Tel ( ) -		
メールアドレス	@				

\* 履修受付締切日：前期：4月6日(木)まで 後期：9月14日(木)まで

\* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
15001	キリスト教学Ⅰ	教養	山根 道公	2	2期	1~4	女子のみ	木 14:45~16:15		
15002	キリスト教学Ⅱ	教養	岡田 紅理子	2	1期	2~4	女子のみ	火 10:45~12:15		
15003	キリスト教学ⅩⅥ	教養	山根 道公	2	1期	2~4	女子のみ	水 13:00~14:30		
15004	英語学・言語学研究ⅢA	専門	齋藤 衛	2	1期	2~4	女子のみ	木 13:00~14:30		
15005	英語学・言語学研究ⅢB	専門	齋藤 衛	2	2期	2~4	女子のみ	木 13:00~14:30		
15006	英米文学講読Ⅱ	専門	新野 緑	2	1期	2~4	女子のみ	水 9:00~10:30		
15007	英米文学研究ⅣB	専門	新野 緑	2	2期	3~4	女子のみ	水 9:00~10:30		
15008	近代文学特講Ⅰ	専門	山根 知子	2	1期	2~4	女子のみ	木 13:00~14:30		

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
15009	古代文学特講Ⅰ	専門	東城 敏毅	2	1期	2~4	女子のみ	月 9:00~10:30		
15010	古代文学特講Ⅱ	専門	東城 敏毅	2	2期	2~4	女子のみ	月 9:00~10:30		
15011	ジェンダー論	専門	山下 美紀	2	1期	2~4	女子のみ	月 13:00~14:30		
15012	現代社会学特講Ⅰ	専門	二階堂 裕子	2	2期	2~4	女子のみ	火 14:45~16:15		
15013	社会集団・組織論	専門	濱西 栄司	2	1期	2~4	女子のみ	木 14:45~16:15		
15014	宗教社会学	専門	福田 雄	2	1期	2~4	女子のみ	木 13:00~14:30		
15015	日本社会史Ⅱ	専門	久野 洋	2	2期	2~4	女子のみ	金 10:45~12:15		
15016	アジア社会史Ⅰ	専門	鈴木 真	2	1期	2~4	女子のみ	木 9:00~10:30		
15017	ヨーロッパ社会史Ⅱ	専門	轟木 広太郎	2	2期	2~4	女子のみ	火 16:30~18:00		
15018	考古学Ⅱ	専門	紺谷 亮一	2	2期	2~4	女子のみ	木 13:00~14:30		

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	0 枚	1 枚